

菅瀬謙治 Kenji Sugase
京都大学工学研究科分子工学専攻 准教授
Email address: sugase@moleng.kyoto-u.ac.jp



【専門】 生物物理、構造生物学

1972年11月14日、三重県生まれ： 三重県立津高等学校卒業

1997年3月 横浜国立大学大学院工学研究科 修士課程修了(阿久津秀雄教授)

1997年4月 サントリー生物有機科学研究所 研究員

2002年3月 横浜国立大学大学院工学研究科 博士課程修了(阿久津秀雄教授)

2003年-6年 Scripps Research Institute (Peter E. Wright教授) 博士研究員として出向

2008年-15年 サントリー生物有機科学研究所 主席研究員・グループ長

2009年-15年 神戸大学工学研究科 客員准教授を兼任

2015年2月 京都大学工学研究科分子工学専攻 准教授

【プロジェクト、編集委員など】

自然科学研究機構 融合発展促進研究プロジェクト 研究代表者(2016年8月-2018年3月)

文科省 新学術領域研究「天然変性蛋白質」研究分担者(2009年4月-2014年3月)

日本核磁気共鳴学会 評議員(2010年4月-2016年3月)、理事2004年3月-2016年3月)

日本蛋白質科学会 アーカイブ委員(2011年4月-)

【趣味】 ジョギング、読書

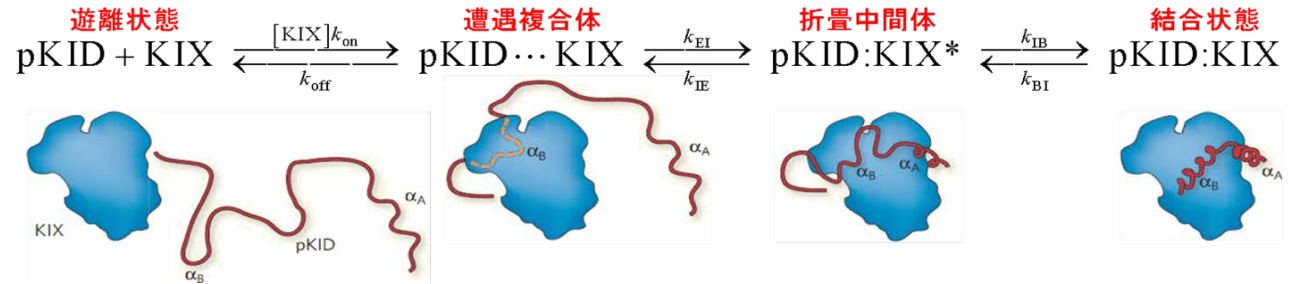
主な研究テーマと成果

1. 天然変性タンパク質の共役した折り畳みと結合の機構解明(2003年以降)

JACS 2007, 129, 13406; *JBNMR* 2013, 56, 275; *PNAS* 2015, 112, 9614.

Nature 2007, 447, 1021

天然変性タンパク質のpKIDが折り畳まれながらKIXと結合する機構を解明

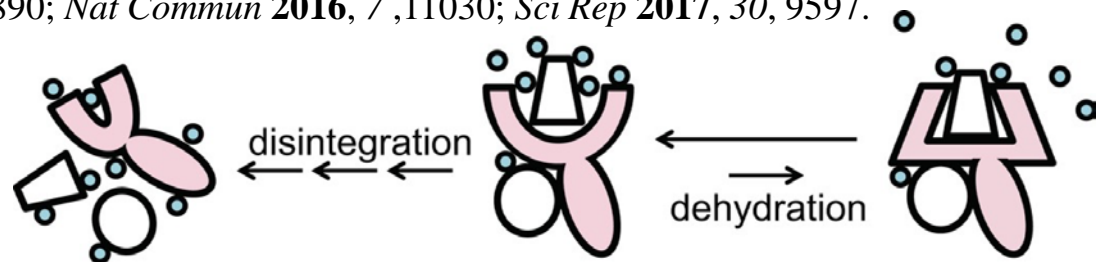


2. タンパク質の動的構造解析(2006年以降)

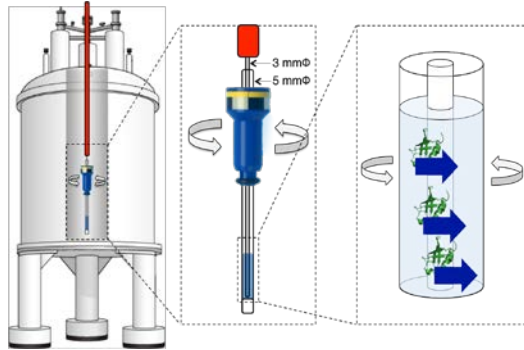
Angewandt 2014, 53, 2349; *JBC* 2014, 289, 13890; *Nat Commun* 2016, 7, 11030; *Sci Rep* 2017, 30, 9597.

JBC 2014, 289, 24680

ヒト白血球型抗原の多様なペプチド認識機構と安定化の機構を解明

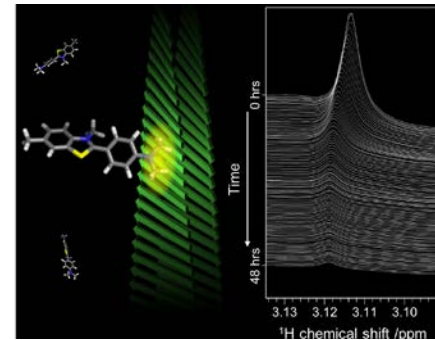


3. Rheo-NMRによるアミロイド線維化機構の解明(2015年以降)



Anal Chem 2017, 89, 7286

高感度Rheo-NMR装置を開発。
アミロイド線維化タンパク質などに適用。



IJMS 2017, 18, E2271

チオフラビンTとアミロイド線維との相互作用をRheo-NMRでリアルタイム観測